

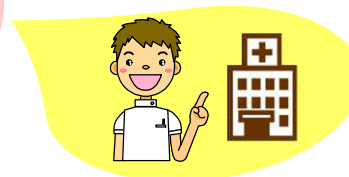
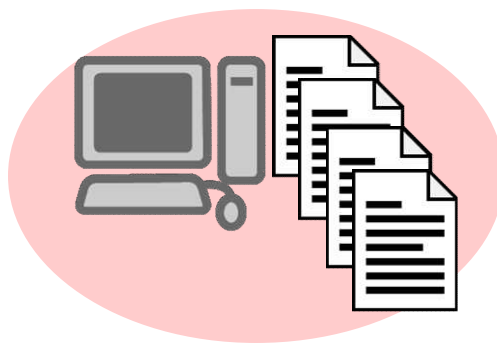
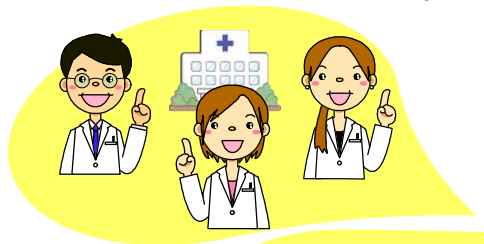
認定薬局整備に向けた 地域の多職種連携強化事業

多職種連携シートの活用 データ解析結果

事業概要

「連携シート」と「マニュアル」の活用

- ・前年度作成の「多職種連携シート」と「多職種のための医薬品適正使用マニュアル」を自立支援ケア会議などで活用
- ・具体的な活用例を集計，データベース化し，多職種で共有して活用
- ・活用していく上で内容の改良・充実化



医薬品適正使用マニュアル・多職種 連携シート（令和元年度版）

[illegible]

適正使用マニュアル・多職種連携シートを用いた、本年度の取り組み

- 令和元年度に作成した「連携シート」と「マニュアル」の活用については、薬剤師だけでなく、多職種（訪問看護師，介護支援専門員，地域包括支援センター職員，管理栄養士等）の研修会や各団体における広報媒体（会報誌，ホームページ）において，具体的な活用方法や薬物療法の改善例について周知し，情報連携体制をさらに強化する。
- 新たに自立支援ケア会議で多職種シートや残薬バッグを活用する事により，市町村及び多職種で，顔の見える関係作りが行う。また，多職種協働のもと，患者の残薬から医療費削減、医師と薬剤師による処方再設計、副作用早期発見から有害事象回避を図る。
- 連携シートの具体的な活用例を集計，データベース化し，多職種で共有できるようにする。この事により，自立支援ケア会議で活躍出来る薬剤師の養成することとあわせてまた，多職種においてもスキルアップに繋がる。

多職種連携シートの見直し

多職種連携シートの様式修正

多職種→保険薬局→(現金窓口)→主治医
 保険薬局報告日: 年 月 日

____様 服薬情報提供書

保険薬局名
所在地

TEL: _____ FAX: _____

担当薬剤師名

保険医療機関の名称
保険医師名

先生 御机下

FAX: _____

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 当診患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり問題点を把握し、
 薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。
 また、必要時には下記項目につきご指示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師 回答日: 年 月 日

当該患者さんの処方内容について

☐ 次回処方までに検討
☐ 処方変更
☐ 変更不可

発信元: 保険薬局

② ↑ ↓ ③

この情報を伝えることに判じて患者の同意を
 口得た。 口得ていない。 口患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項 (複数回答可) ← 左記選択肢の詳細

☐ 特科受診薬による重複投与による中止依頼
☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
☐ 相互作用による処方提案
☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
☐ 服薬上の問題点による処方提案

合剤・一気化・粉砕・製剤・製剤・製剤・製剤・製剤
 服用方法変更・その他

☐ 服薬回数などの処方提案
☐ その他

(その他、薬物療養状況等特記すべき事項を含む)

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外)

① ↑ ↓ ④

報告日: 年 月 日 患者名: _____ 様

薬剤名: _____ TEL: _____ FAX: _____

情報: _____

報告内容(気になること)

☐ 患者からの取次
☐ 家族からの情報
☐ その他【報告者等が発表】⇒

[注意] 緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で緊急開示して下さい。

- ・ 医療機関の名称・FAXの位置を変更
- ・ 担当科を削除

- ・薬局記入項目の順番を変更
(処方せんの記載順にあわせた)

- ・「次回処方変更」を「処方変更」
(すぐに診察を受けるよう指示
される場合があるため)

- ・ 注意書きの文言を修正

多職種連携シートを使った調査体制

- 調査期間：令和2年8月17日～令和2年12月15日
- 調査体制：
 - 徳島市：19薬局が参加（回答は10薬局、103件）
 - 小松島支部：2薬局が参加（回答は2薬局、4件）
 - 鳴門支部：2薬局が参加（回答は2薬局、5件）
 - 板野支部：6薬局が参加（回答は6薬局、14件）
- 協力依頼先および方法：
 - 鳴門市医師会主催の説明会
 - ケアマネージャー対象の実践報告会

様 服薬情報提供書

多職種・保険薬局 → (順次窓口) → 主治医

保険薬局報告日: 年 月 日

保険医療機関の名称
保険医師名

先生 御机下

保険薬局名
所在地

TEL: 担当薬剤師名

FAX:

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当該患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり問題点を把握し、
薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。
また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師 回答日: 年 月 日

当該患者さんの処方内容について

☐ 次回処方までに検討

☐ 処方変更

☐ 変更不可

③

発信元: 保険薬局

この情報を伝えることに対して患者の同意を
☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。

同意しないから薬剤師としての提案事項 (複数回答可) ← 左記選択肢の詳細

☐ 薬剤受診薬による重複投与による中止依頼 (その他、薬物保管状況等特記すべき事項を含む)

☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案

☐ 相互作用による他剤提案

☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案

☐ 服薬上の問題点による処方提案

合剤・一包化・粉砕・簡易懸濁・剤形変更・
服用方法簡便化・その他

☐ 服薬回数などの処方提案

②

④

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外)

報告日: 年 月 日 患者名: 様

施設名: TEL: FAX:

報告内容 (記入すること)

☐ 患者からの訴え

☐ 家族からの情報

☐ その他【報告者等が発見】

①

【注意】 緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で疑義照会して下さい。

運用方法と件数

①→②→③→④

126件



医師
歯科医師

病院
薬剤師



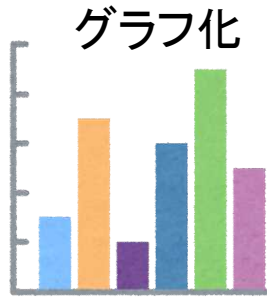
薬局
薬剤師

共通認識・
業務の簡便化



看護師, 理学療法
士, ケアマネー
ジャー等

解析方法



選択肢情報

データベース を表計算へ

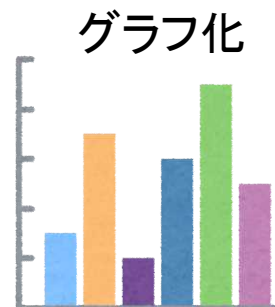


Microsoft Excel

文字情報
(コメント欄)



KH coder
(テキストマイニングソフト)



紙情報を
電子情報へ
(データベース)



Google Forms

[illegible]

グラフ化

結果

①多職種→薬局について 発信元の職種による分類

発信元：多職種（医師・薬剤師以外）

報告日：令和〇年 〇月 〇日

施設名：〇〇訪問看護ステーション

職種： 看護師

報告内容（気になること）

- ☒ 患者からの訴え
- ☐ 家族からの情報
- ☐ その他【報告者等が発見】⇒



薬局
薬剤師

共通認識・
業務の簡便化



看護師，理学療法
士，ケアマネー
ジャー等

(N=126)

①多職種→薬局について 発信元の職種による分類

看護師の訴え

“処方そのもの”、“
薬用量”、“状態”に
関する情報の提供

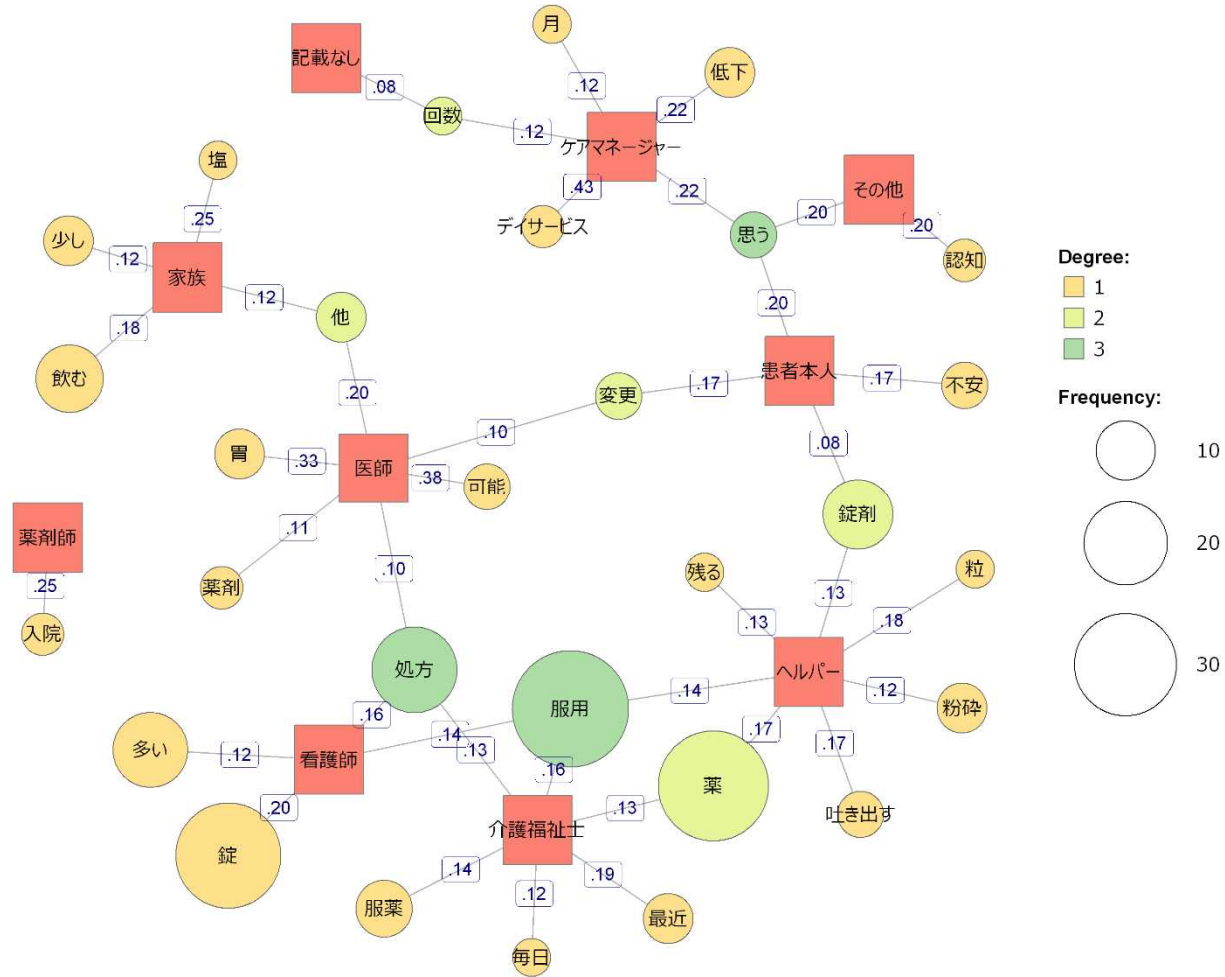
ヘルパーの訴え

“服用状況”、“剤形”に関する情報の提供

介護福祉士の訴え

看護師とヘルパーの中間 に位置する情報の提供

職種別「発信元コメント」の共起 ネットワーク分析



結果

①多職種→薬局について 発信元の施設による分類

発信元：多職種（医師・薬剤師以外）

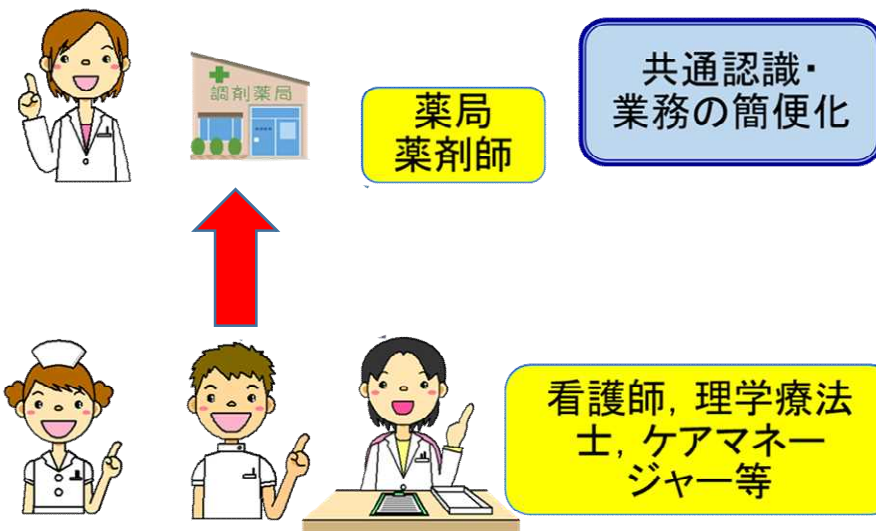
報告日：令和〇年 〇月 〇日

施設名：〇〇訪問看護ステーション

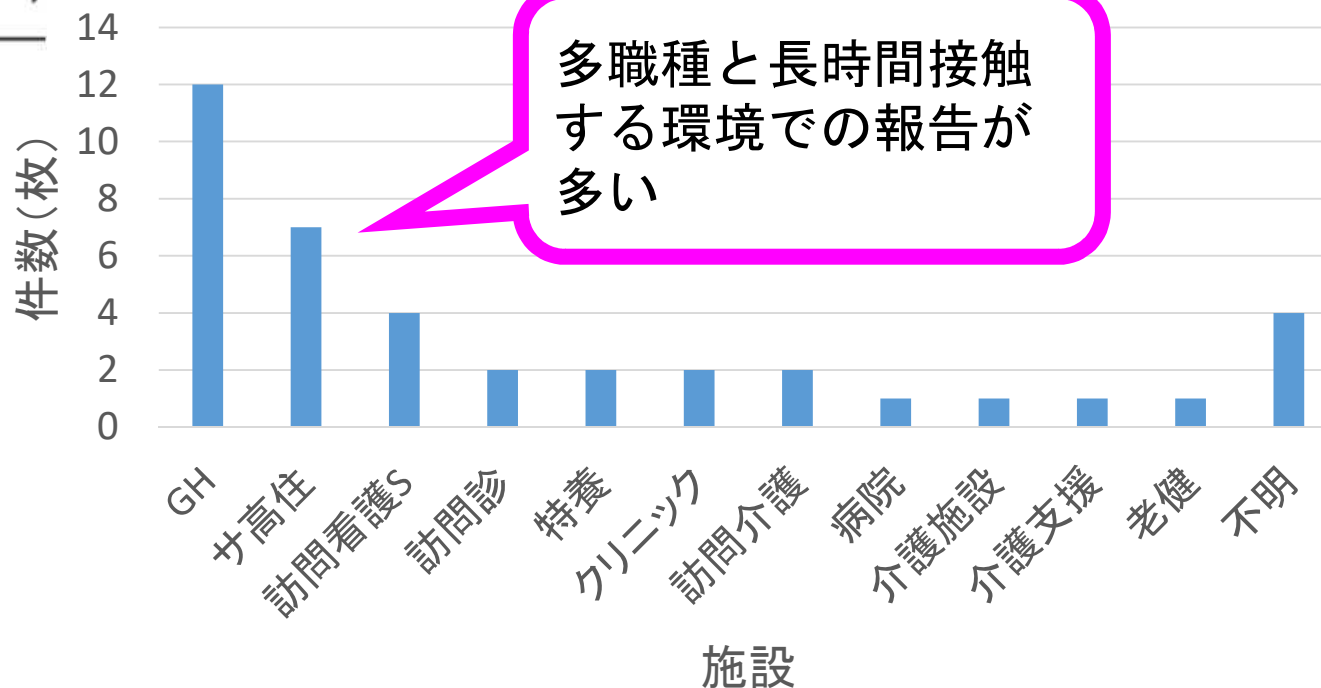
職種：看護師

報告内容（気になること）

- ☒ 患者からの訴え
- ☐ 家族からの情報
- ☐ その他【報告者等が発見】⇒



発信元施設



(N=125)

結果

①多職種→薬局について 発信依頼者による分類

発信元：多職種（医師・薬剤師以外）

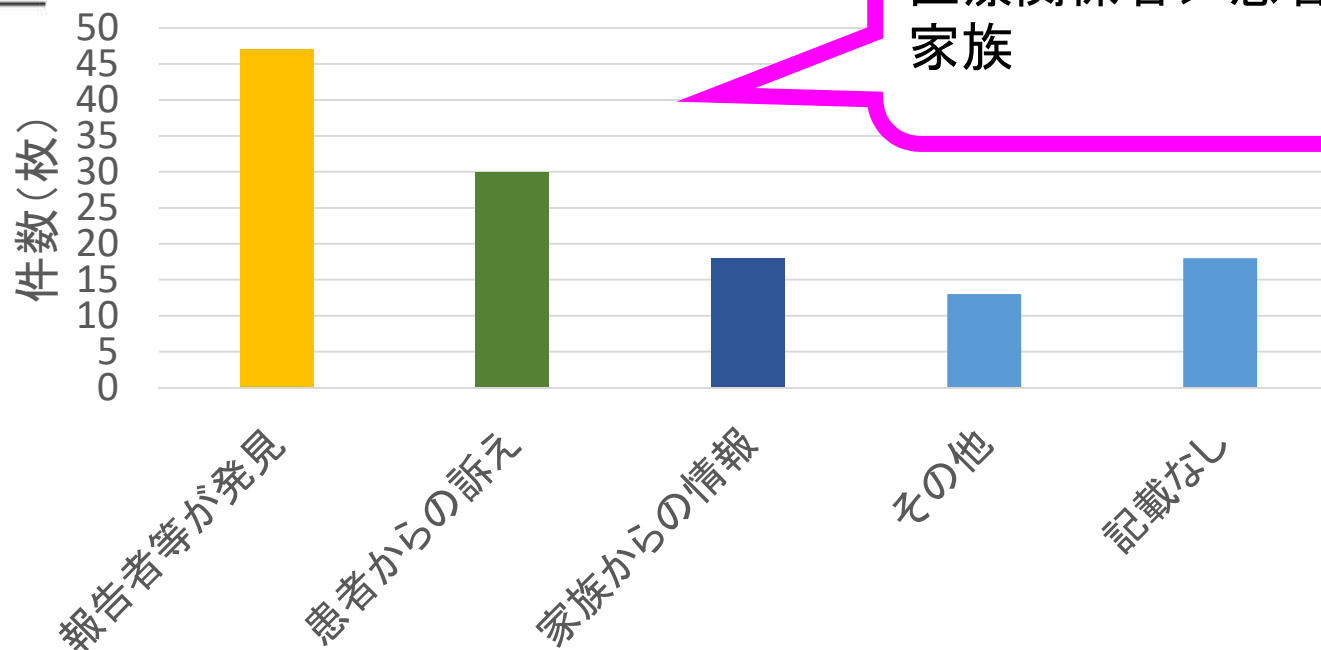
報告日：令和〇年 〇月 〇日

施設名：〇〇訪問看護ステーション

職種：看護師

報告内容（気になること）

- ☒ 患者からの訴え
- ☐ 家族からの情報
- ☐ その他【報告者等が発見】→



発信依頼者

医療関係者＞患者＞
家族



薬局
薬剤師

共通認識・
業務の簡便化



看護師，理学療法
士，ケアマネー
ジャー等

(N=126)

結果

①多職種→薬局について 発信依頼者による分類

発信元：多職種（医師・薬剤師等）

報告日：令和〇年 〇月 〇日 患者名：徳島 花子 様

患者様：〇〇病院薬学センター

TEL: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

職種：薬剤師

報告内容（実になること）

☒ 患者からの訴え

☐ 家族からの情報

☐ その他（報告者が指定）

報告者等が発見

薬	.186
多い	.116
錠剤	.081
減らす	.074
可能	.062
吐き出す	.062
胃	.061
少し	.061
数	.050
粒	.050

“量”、“有害事象”の問題

患者からの訴え

錠	.108
飲む	.083
他	.073
トイレ	.058
月	.058
回数	.057
行く	.057
不安	.055
1mg	.039
継続	.039

“トイレ”、“不安”の問題

家族からの情報

飲む	.139
最近	.129
処方	.119
錠	.116
服用	.091
前	.088
安定	.071
便	.071
就寝	.069
残	.067

“眠り”、“変化”の問題



薬局
薬剤師

共通認識・
業務の簡便化

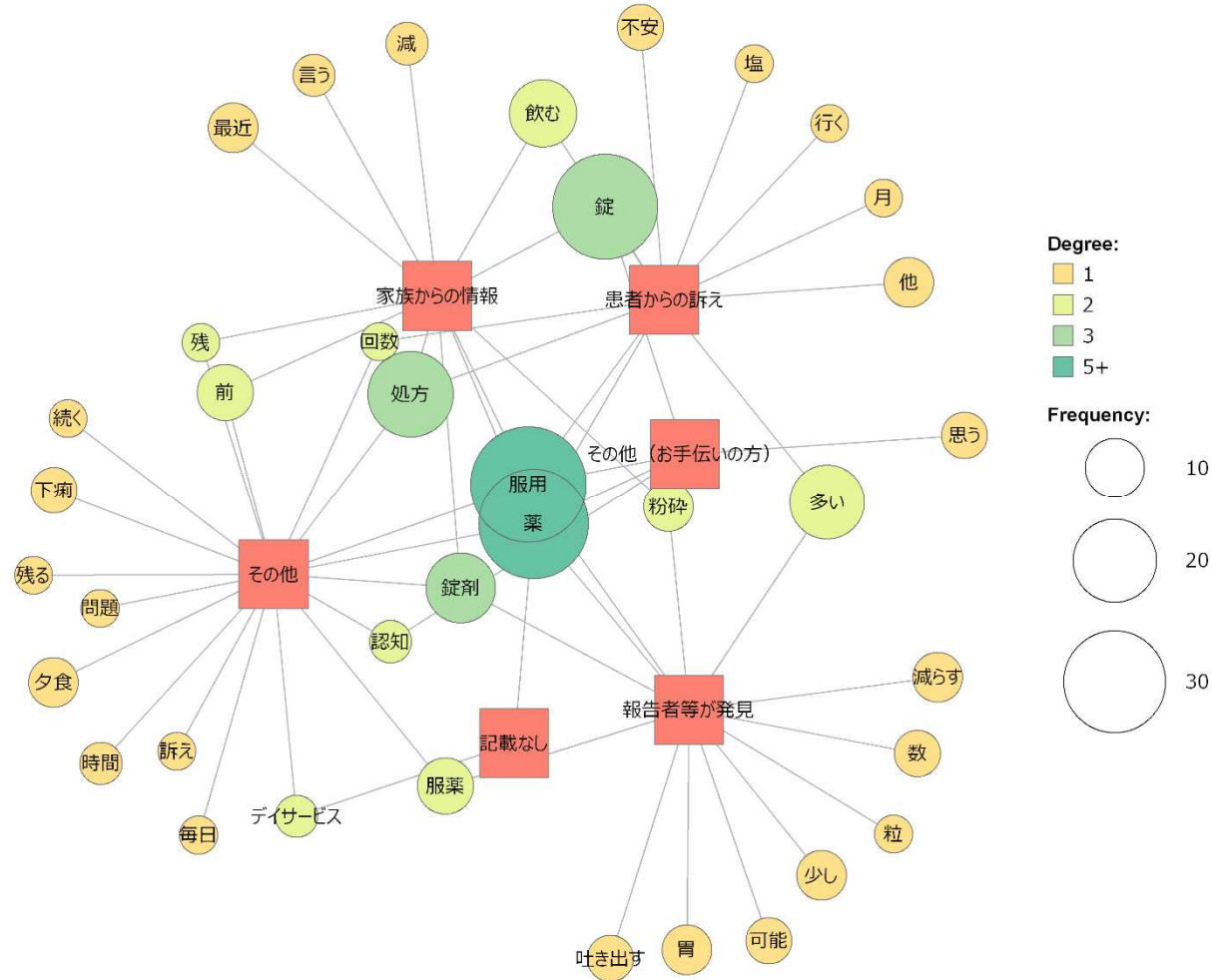


“処方”意外に特徴的な訴え



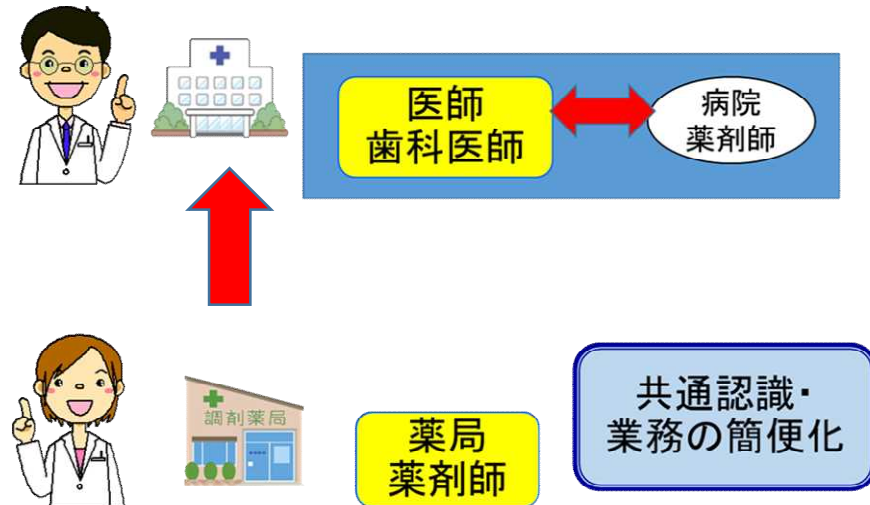
看護師，理学療法
士，ケアマネー
ジャー等

発信者別「発信元コメント」の共起ネットワーク分析

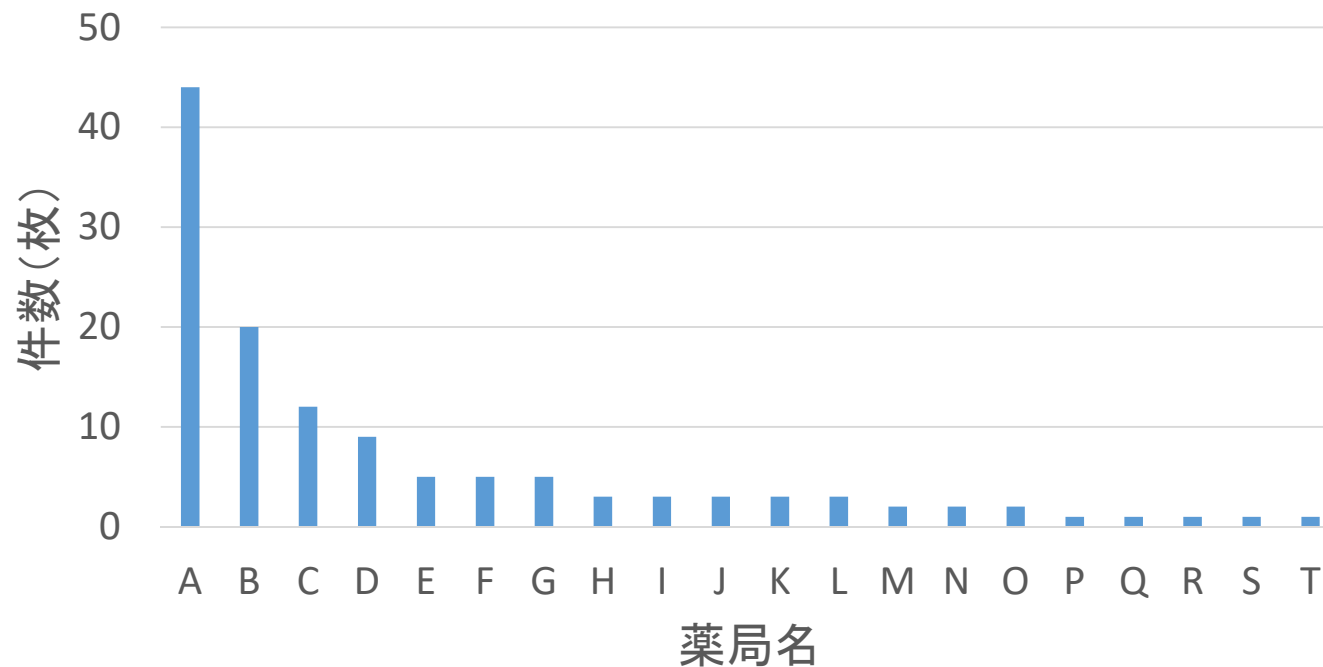


結果

②薬局について 薬局ごとの対応件数



薬局毎の対応件数



(N=126)

結果

②薬局について 患者の同意の有無

発信元：保険薬局

② ■ ↓ ③

この情報を伝えることに対して患者の同意を

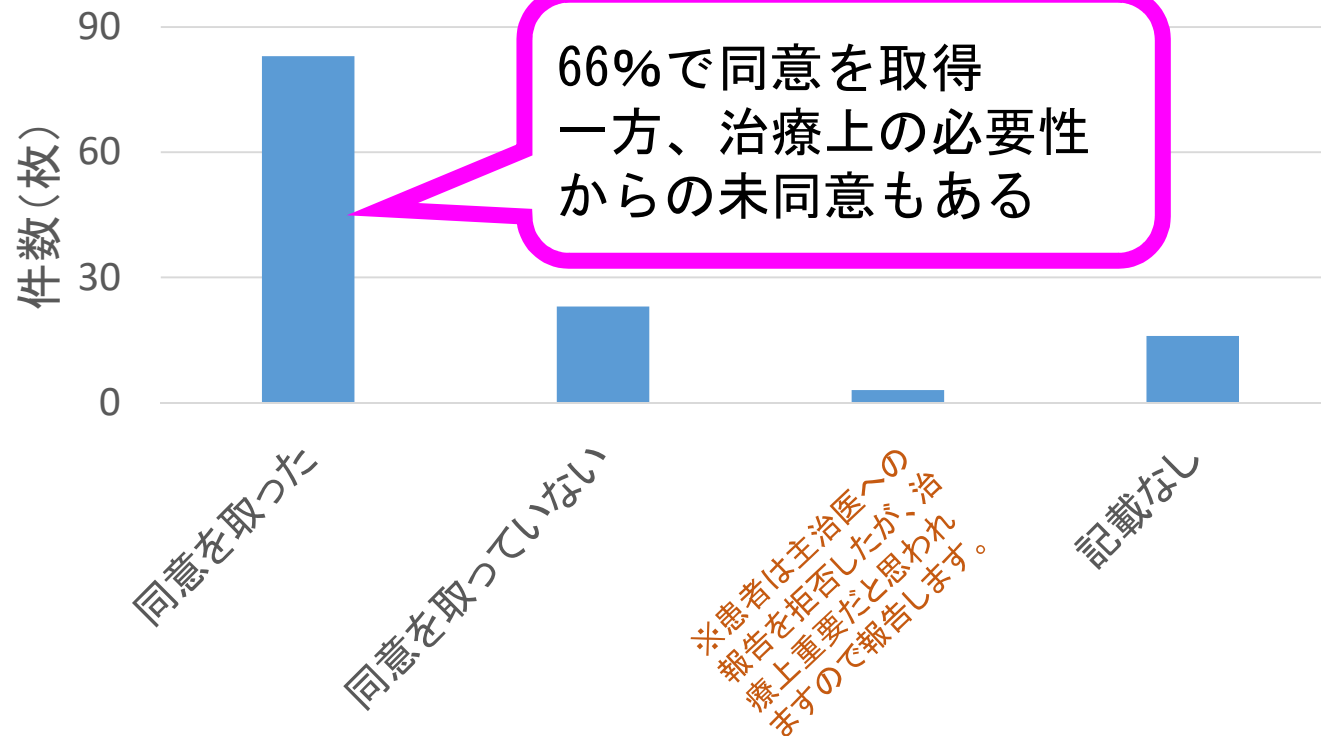
取得した。 □ 取得していない。 □ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。



薬局
薬剤師

共通認識・
業務の簡便化

(患者に対し)主治医に連絡を取る事への同意の有無



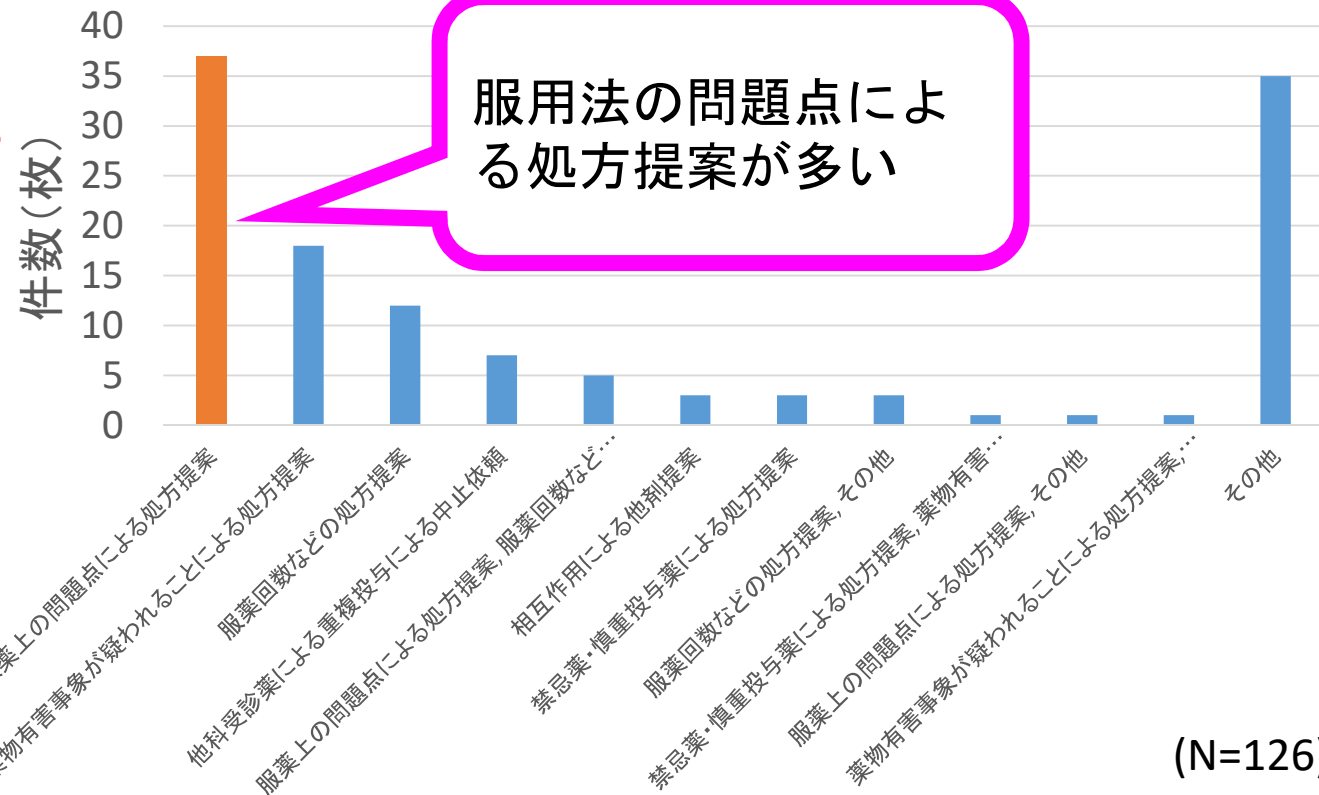
(N=125)

結果

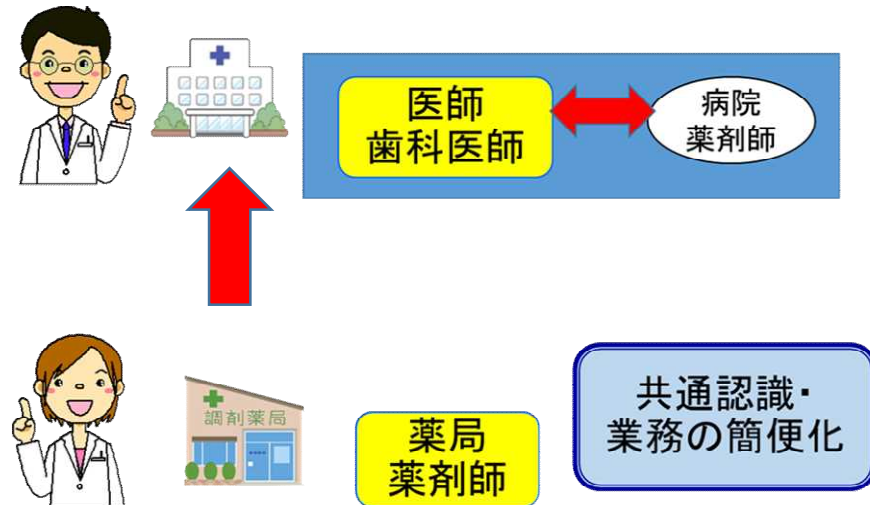
②薬局について 医師への提案事項

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複製)

- ☐ 他科受診薬による重複投与による中止依頼
- ☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
- ☐ 相互作用による他剤提案
- ☒ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
- ☐ 服薬上の問題点による処方提案
 - 合剤・一包化・粉碎・簡易懸濁・剤形変更・
 - 服用方法簡便化・その他
- ☐ 服薬回数などの処方提案
- ☐ その他



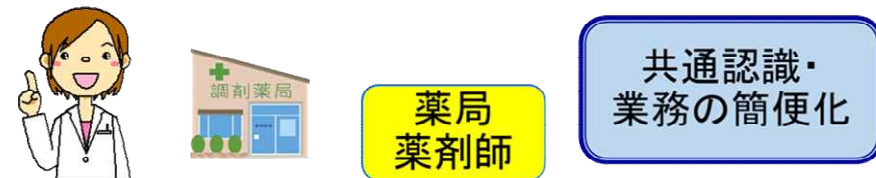
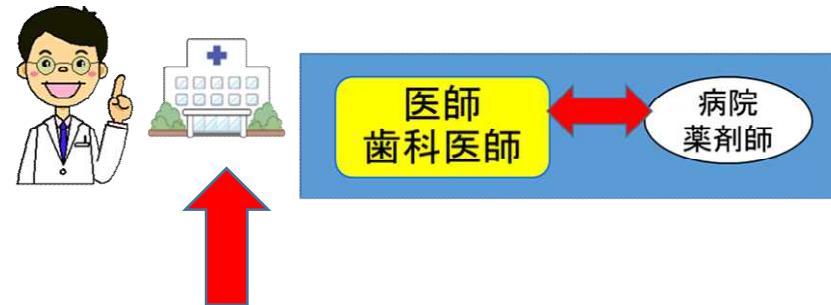
(N=126)



結果

②薬局について

服薬上の問題点による 処方提案の内容



問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数)

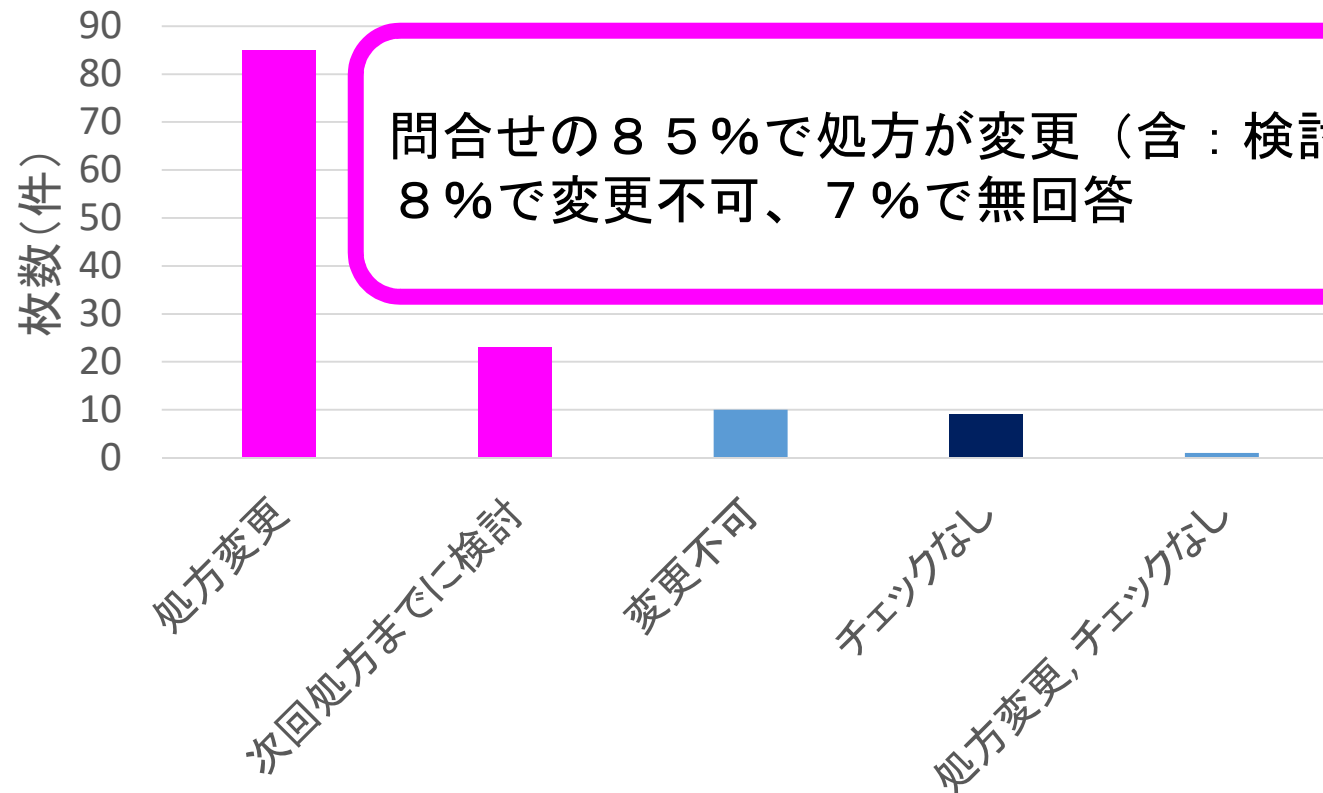
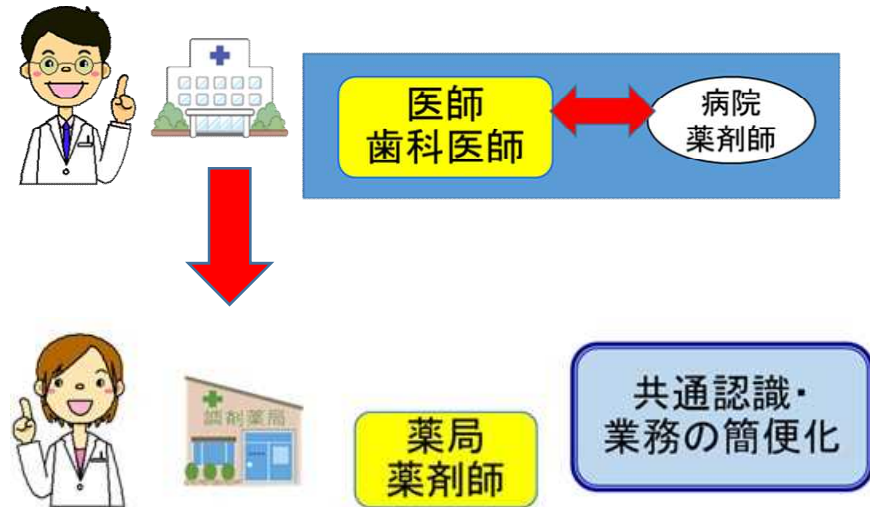
- ☐ 他科受診薬による重複投与による中止依頼
- ☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
- ☐ 相互作用による他剤提案
- ☒ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
- ☒ 服薬上の問題点による処方提案
 - 合剤・一包化・粉碎・簡易懸濁・剤形変更・服用方法簡便化・その他
- ☐ 服薬回数などの処方提案
- ☐ その他



(N=41)
複数回答含む

結果

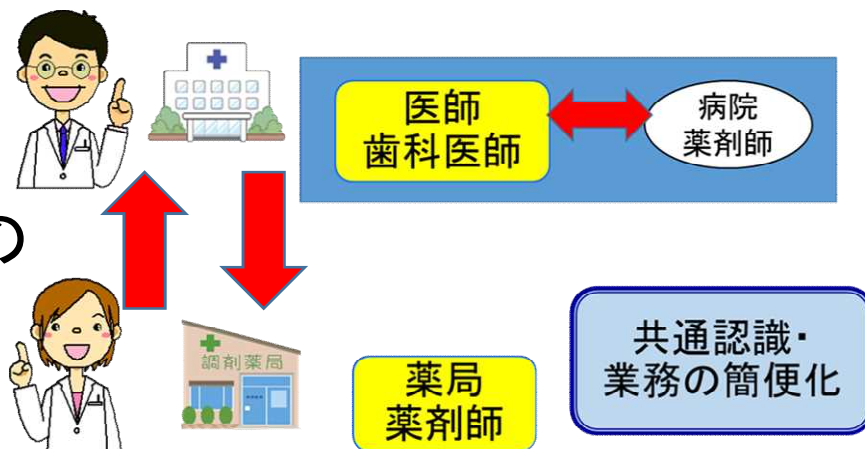
③医師について 医師の対応



(N=126)

結果

発信元の情報に基づいた薬剤師の提案と、それに対する医師の対応



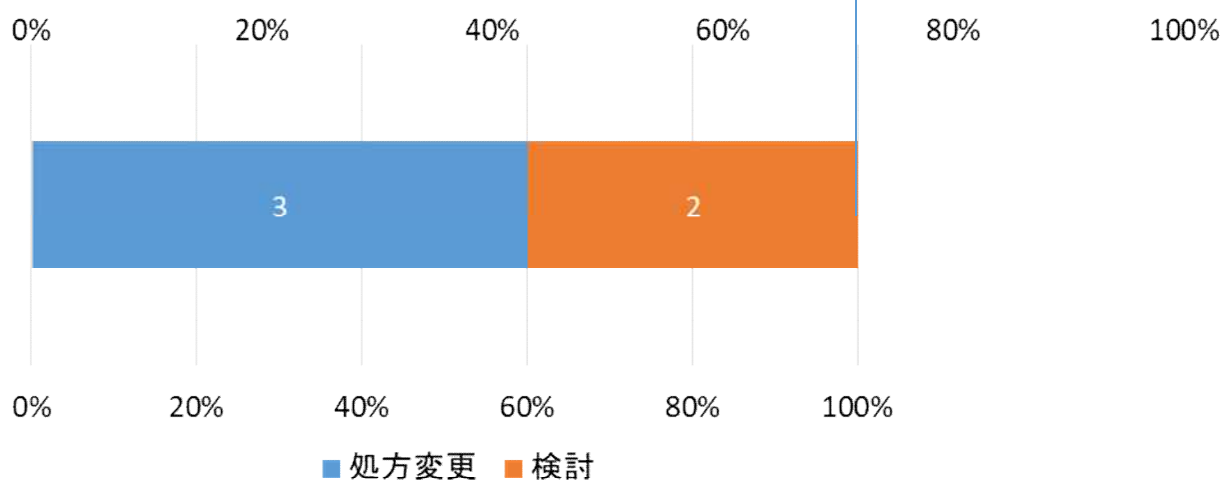
発信元情報で他科受診による重複投与が見つかった場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案



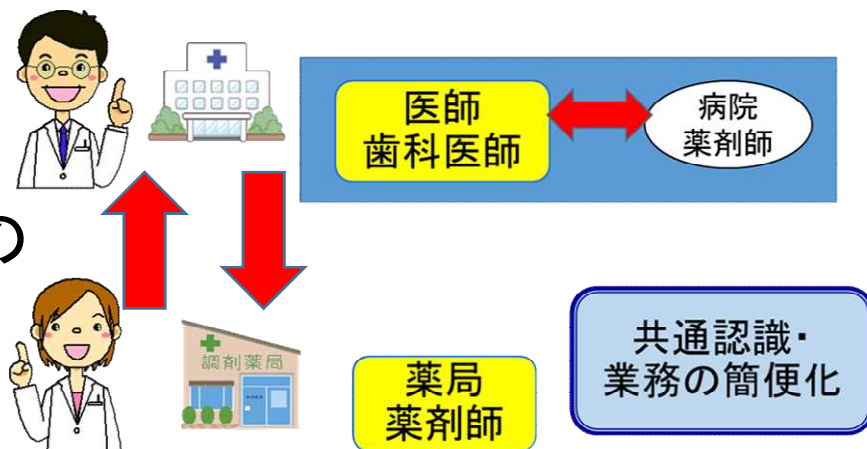
医師の対応



(N=7)

結果

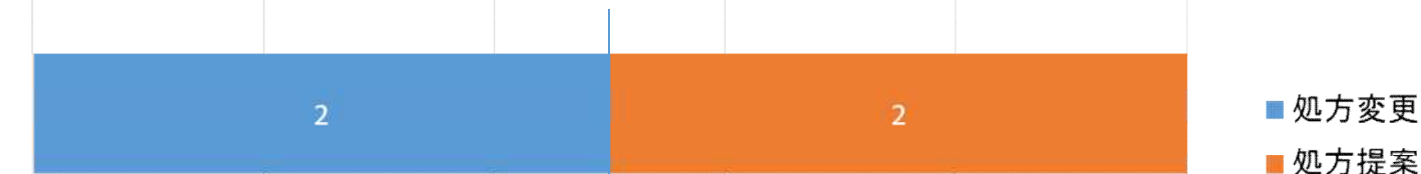
発信元の情報に基づいた薬剤師の提案と、それに対する医師の対応



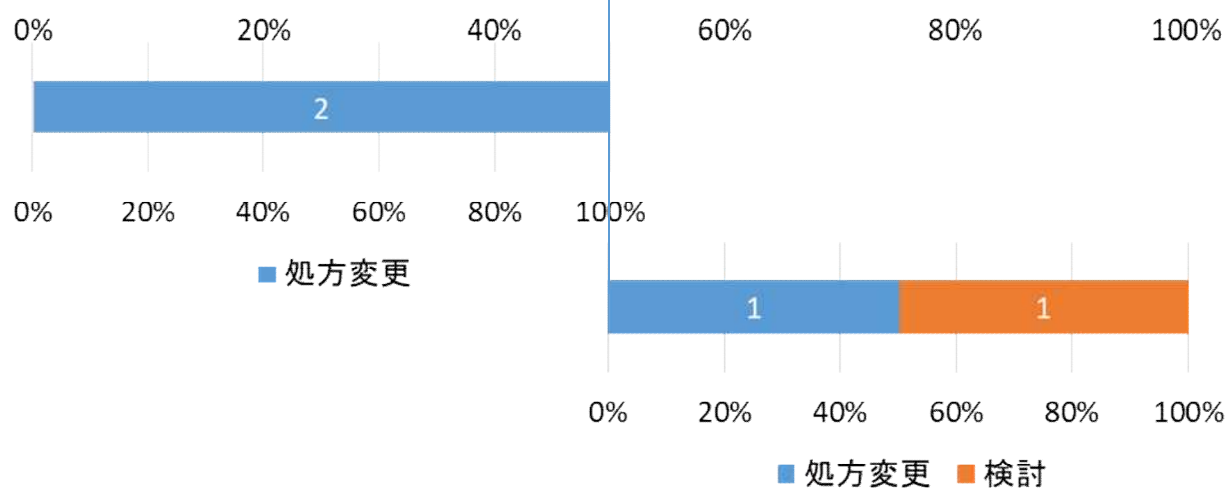
発信元情報で禁忌薬・慎重投与薬が見つかった場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案



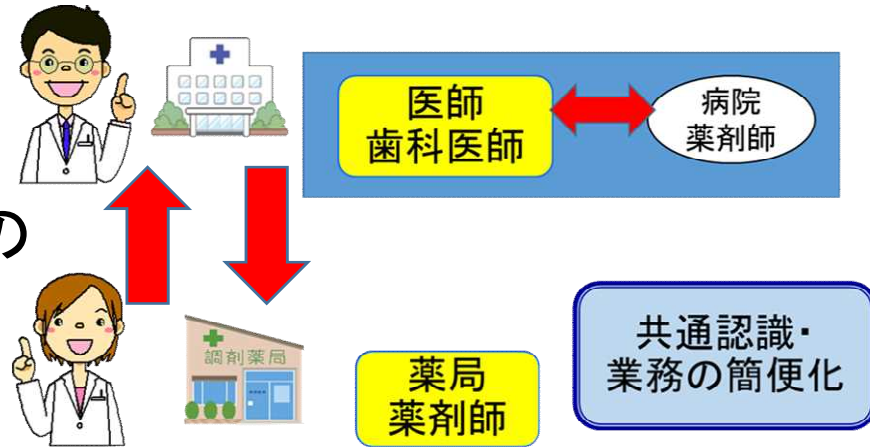
医師の対応



(N=4)

結果

発信元の情報に基づいた薬剤師の
提案と、それに対する医師の対応

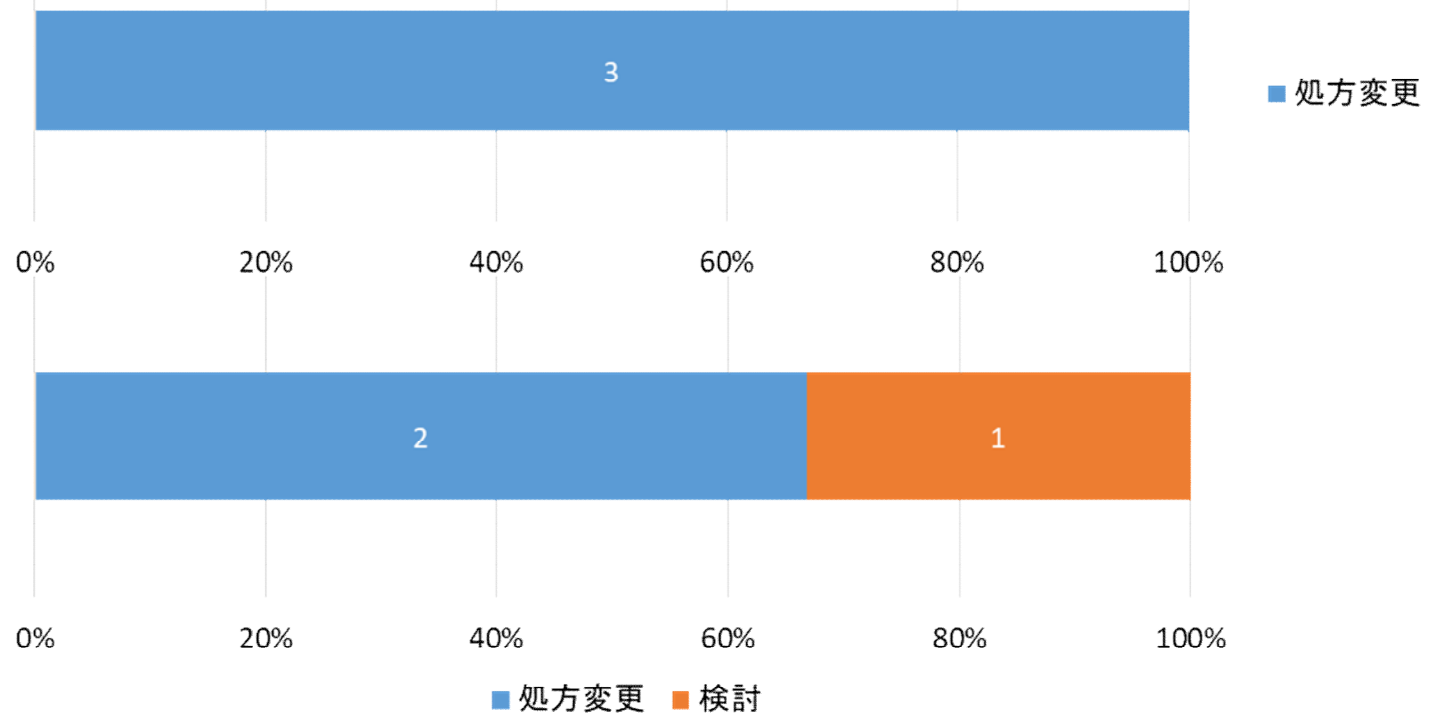


発信元情報で薬物相互作用が見つかった場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案

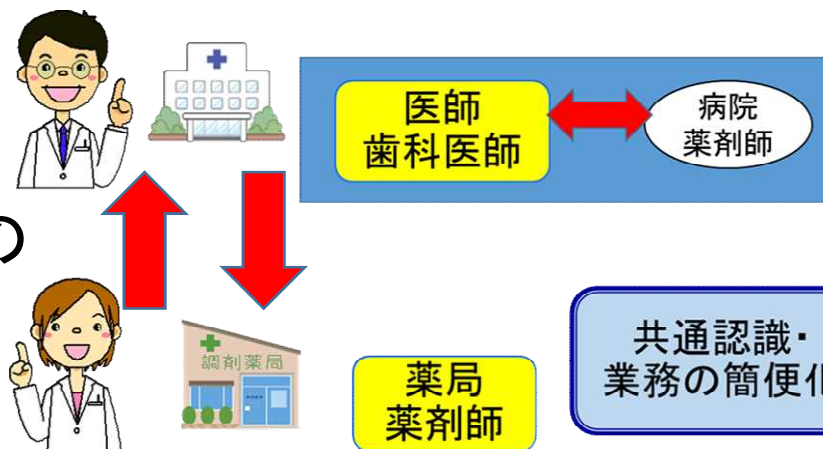
医師の対応



(N=3)

結果

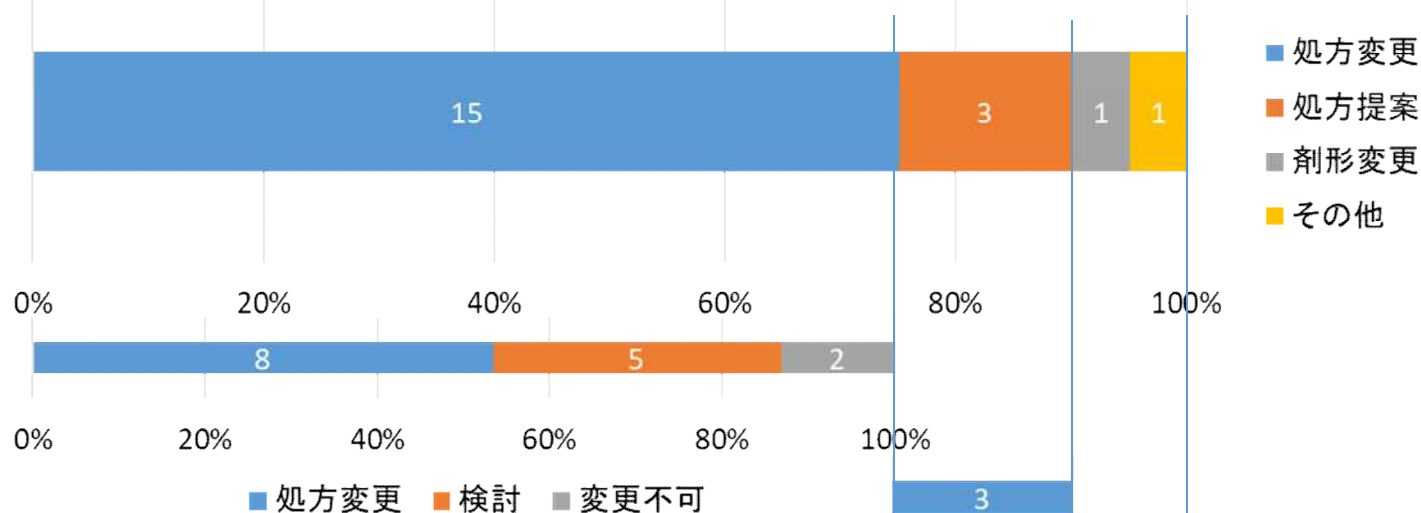
発信元の情報に基づいた薬剤師の提案と、それに対する医師の対応



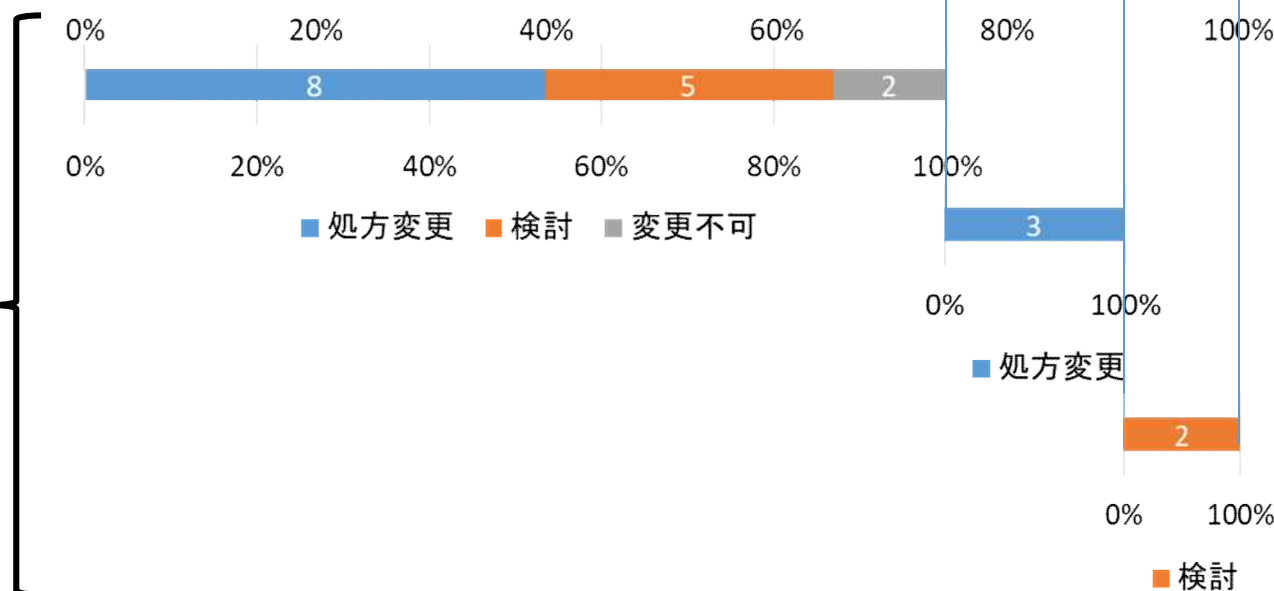
発信元情報で薬物有害事象が疑われる場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案



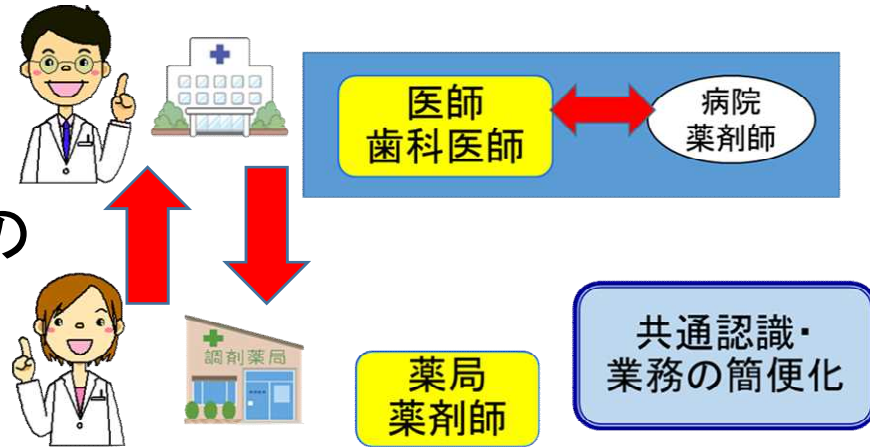
医師の対応



(N=20)

結果

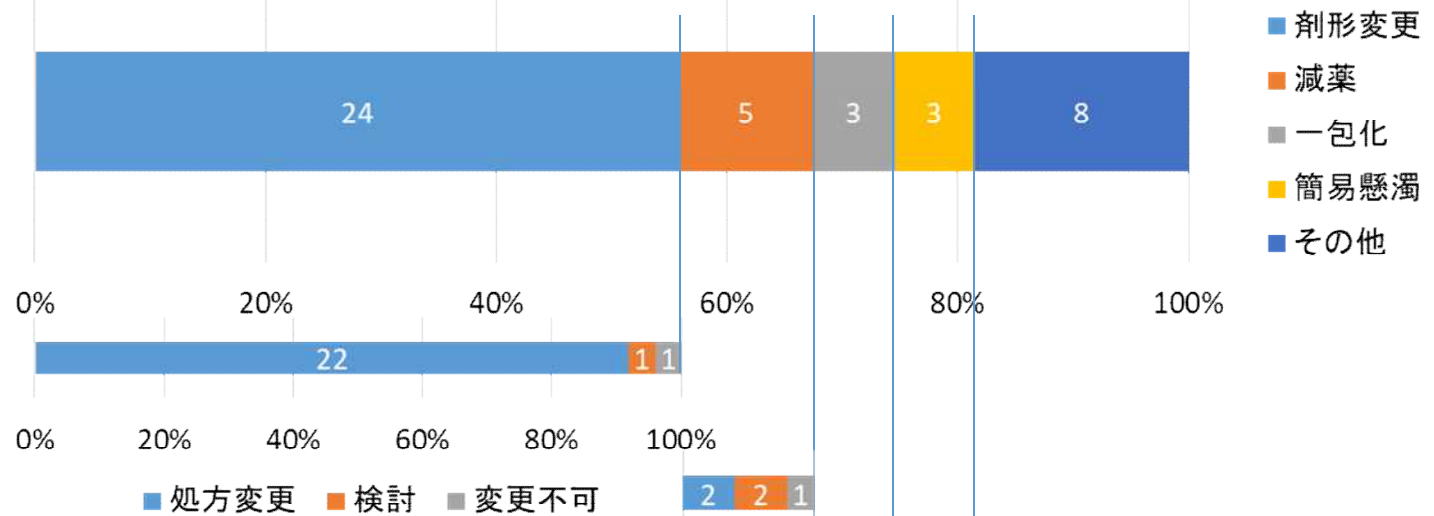
発信元の情報に基づいた薬剤師の提案と、それに対する医師の対応



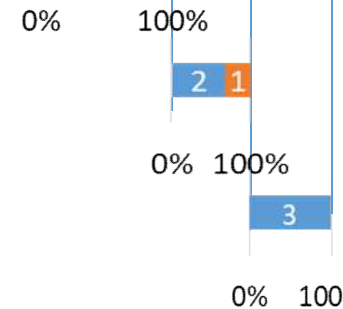
発信元情報で服薬上の問題点が見つかった場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案



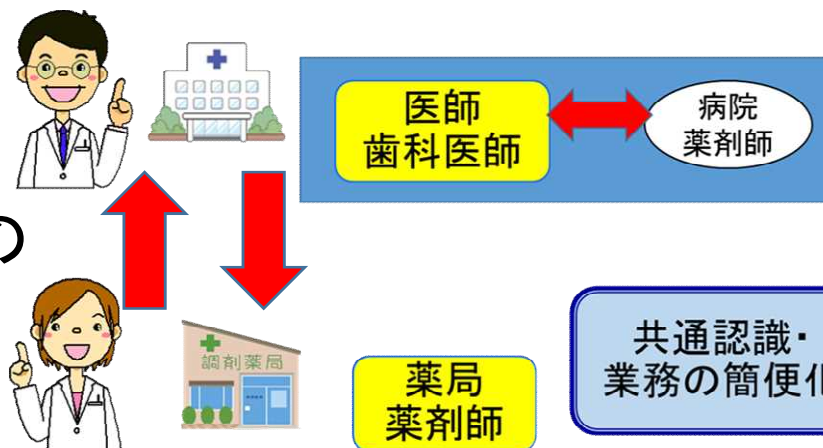
医師の対応



(N=43)

結果

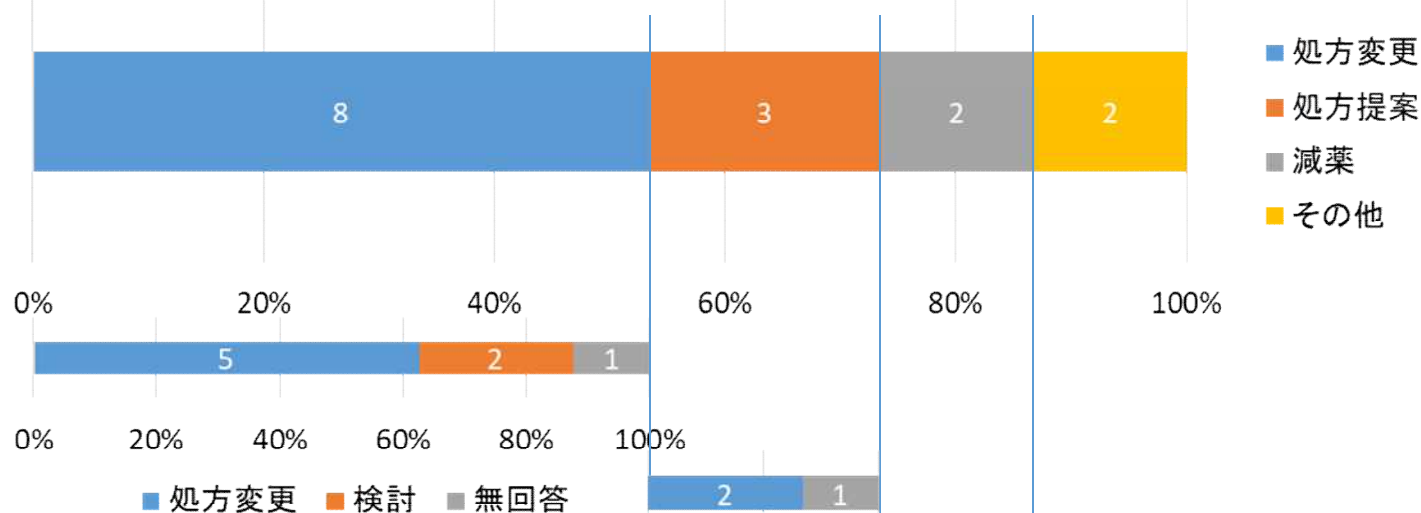
発信元の情報に基づいた薬剤師の提案と、それに対する医師の対応



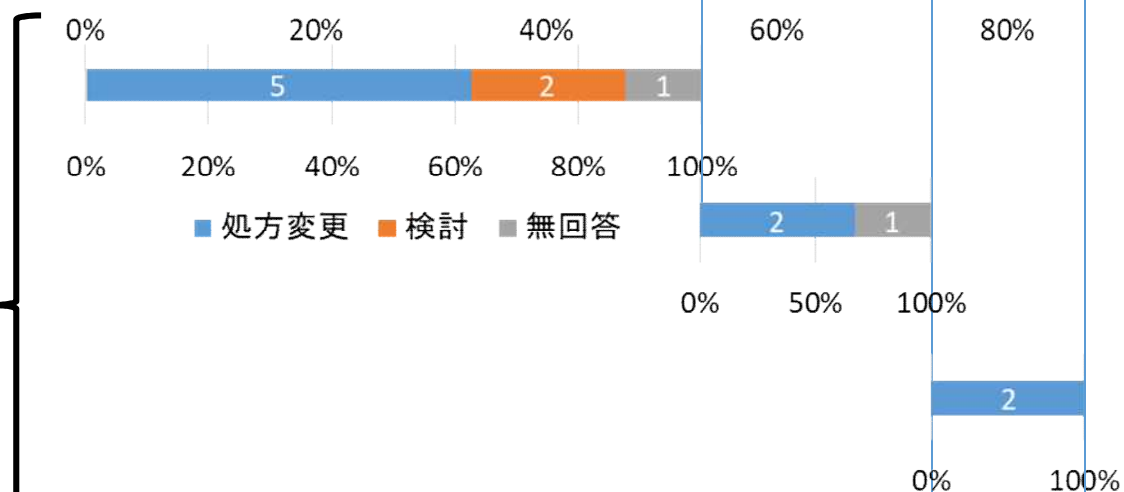
発信元情報で服薬回数の問題点が見つかった場合

処方変更: 既出の薬剤の用法・用量等を変更
処方提案: 新たな薬剤を提案

薬剤師の提案



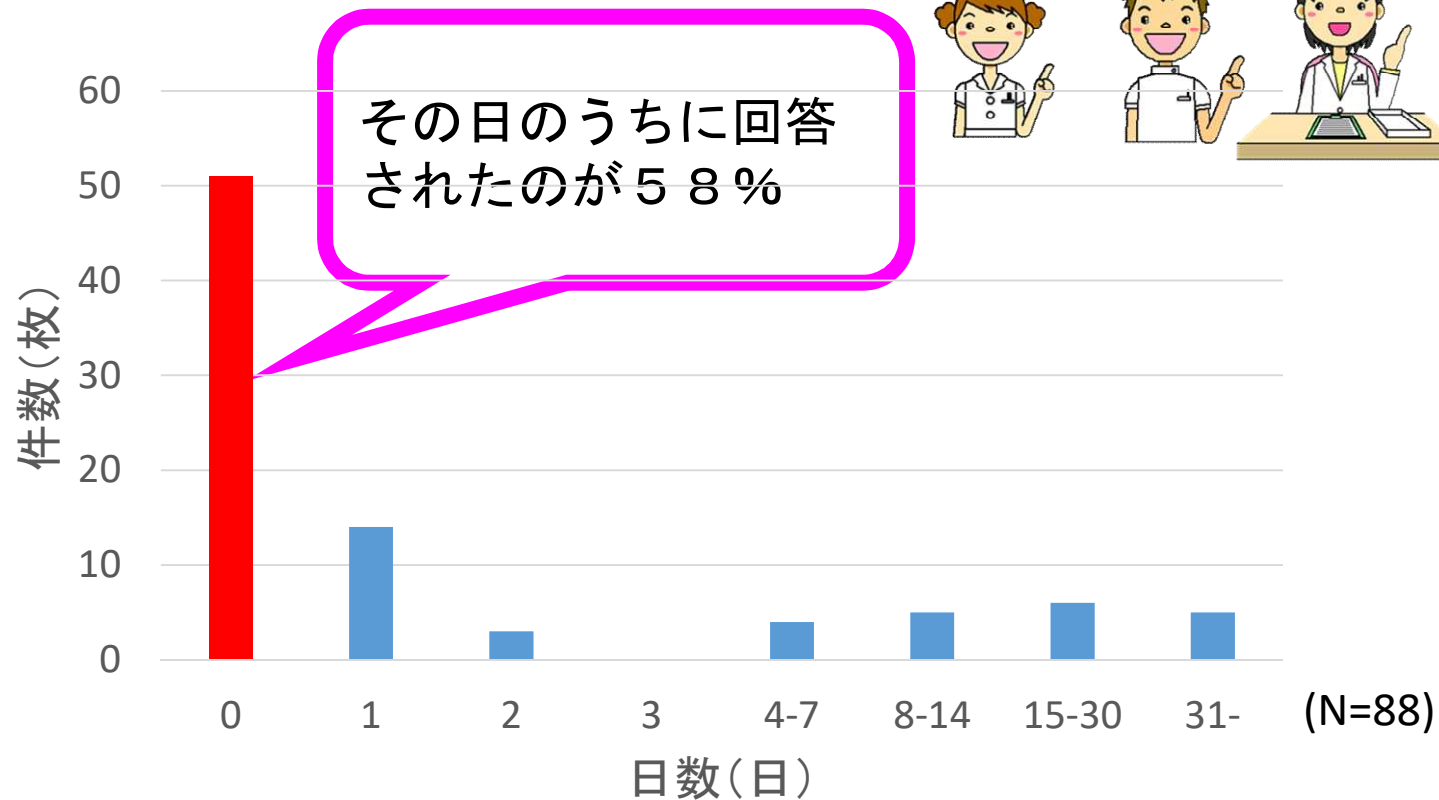
医師の対応



(N=15)

結果

発信元発出から医師回答まで、かかった日数



まとめ

多職種連携シートを用いた取り組みは
紙媒体であるが、高い即時性を保ち、

- 患者および患者家族の不安解消
 - 介護職（看護師、ヘルパー、介護福祉士）の業務軽減
- につながるほか、
- 副作用早期発見および有害事象回避による安全性の担保
 - 飲み残し薬の減少による医療経済への貢献

に寄与できる可能性が示され、厚生労働省が進めている“患者のための薬局ビジョン”の中の「多職種連携による薬局の在宅医療サービスの推進事業」に対する徳島モデルとして
全国に示すことのできる取り組み結果と考えている。



様式の見直し(案)

____様 服薬情報提供書

多職種→保険薬局→(照会窓口)→主治医
保険薬局報告日: 年 月 日

保険医療機関の名称
保険医師名

先生 御机下

FAX:

保険薬局名
所在地
TEL:
担当薬剤師名

FAX:

⑩

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当該患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、次のとおり問題点を把握し、
薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考になれば幸いです。
また、必要時には次の項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師 回答日: 年 月 日

当該患者さんの処方内容について

☐次回処方までに検討
☐処方変更
☐変更不可

③ 回答日(年 月 日)

医師からのコメントでは、

- 処方変更が67%
- 次回処方までに検討が18%
- 変更不可が8%
- 返答無しが7%

なので、□で4つを並べて表記し、回答枠は「内容」としてを1つにした方が書きやすいのでは？

現状では「変更不可」の枠が一番大きく、実情と合っていないため

「回答日」ですが、他職種連携の点から、情報が下りてくる日が一覧できるようにしてみました(後述)

当該患者さんの処方内容について
☐処方変更 ☐次回処方までに検討 ☐変更不可 ☐その他

コメント

様式の見直し(案)

発信元: 保険薬局

② ↑ ↓ ③

この情報を伝えることに対して患者の同意を
☐ 得た ☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) ← 左記選択肢の詳細
☐ 他科受診薬による重複投与による中止依頼 (その他、薬物保
☐ 禁忌薬・慎重投与薬による処方提案
☐ 相互作用による他剤提案
☐ 薬物有害事象が疑われることによる処方提案
☐ 服薬上の問題点による処方提案
 〔 合剤・一包化・粉碎・簡易懸濁・剤形変更・
 その他 〕
☐ 用法(回数、時間など)、用量の処方提案
☐ その他

□の表記ですが、現行では

問題点＋処方提案

問題点＋他剤提案

問題点＋中止依頼 と、問題点とその対応がセットになっており、たとえば「問題点」と「処方提案」がこの組み合わせに無い場合は選べないようです(アンケートによると、その場合は「その他」を選んでいるのが35件)。

従って、「問題点」と「対応」を分ける方が記入しやすいと思うのですが、どうでしょうか。たとえば

情報から抽出した 問題点	提案事項
☐ 重複投与	☐ 処方(他剤)変更
☐ 服用困難	☐ 処方(他剤)提案
☐ 残薬	☐ ご相談
☐ 禁忌・慎重投与	☐ ご報告
☐ 薬物有害事象	☐ その他
☐ 用法変更	
☐ 用量変更	
☐ 剤形	
☐ その他	

「問題点」として、

「重複投与」

「服用困難」

「残薬」

「禁忌・慎重投与薬」

「薬物有害事象」

「用法変更」

「用量変更」

「剤形」

「その他」

を、それぞれ選ぶようにするとか。

「対応」として

「処方(他剤)変更」

「処方(他剤)提案」

「ご相談」

「ご報告」

「その他」

※剤形変更、一包化
簡易懸濁の提案は
処方変更、もしくは
処方提案に含めて
も良いのでは？

様式の見直し(案)

発信元：保険薬局

②



③

この情報を伝えることに対して患者の同意を

☐ 得た

☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) ← 左記選択時の詳細

- ☐ 今回は、医師回答日を発信元にわたった日として集計しましたが、
- ☐ 薬局から発信者に情報がわたった正確な日も必要と思いますので、
- ☐ ④の日付を記載するようにしてはどうでしょうか
- ☐ (書面による連絡以外にも、「対処しました」等の、口頭もしくは電話によるひと言連絡でもあればと考え、「連絡日」としました)

☐ 用法(回数、時間など)、用量の処方提案

☐ その他

発信元：多職種(医師・薬剤師以外)

①



④

この情報を伝えることに対して患者の同意を

☐ 得た

☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

報告日： 年 月 日

施設名：

TEL：

FAX：

職種：

報告内容(気になること)

☐ 患者からの訴え

☐ 家族からの情報

☐ その他【報告者等が発見】⇒

様式の見直し(案)

発信元：保険薬局

②



③

この情報を伝えることに対して患者の同意を

☐ 得た

☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

問題点(懸念事項)から薬剤師としての提案事項(複数回答可) ← 左記選択時の詳細

- ☐ 今回は、医師回答日を発信元にわたった日として集計しましたが、
- ☐ 薬局から発信者に情報がわたった正確な日も必要と思いますので、
- ☐ ④の日付を記載するようにしてはどうでしょうか
- ☐ (書面による連絡以外にも、「対処しました」等の、口頭もしくは電話によるひと言連絡でもあればと考え、「連絡日」としました)

☐ 用法(回数、時間など)、用量の処方提案

☐ その他

発信元：多職種(医師・薬剤師以外)

①



④ 連絡日(年 月 日)

この情報を伝えることに対して患者の同意を

☐ 得た

☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

報告日： 年 月 日

施設名：

TEL：

FAX：

職種：

報告内容(気になること)

- ☐ 患者からの訴え
- ☐ 家族からの情報
- ☐ その他【報告者等が発見】⇒

様式の見直し(案)

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外) ① ↑ ↓ ④

この情報を伝えることに対して患者の同意を
☐ 得た ☐ 得ていないが、治療上重要だと思われるため報告

報告日: 年 月 日

施設名: TEL: FAX:

職種:

報告内容(気になること)
☐ 患者からの訴え
☐ 家族からの情報
☐ その他【報告者等が発見】⇒

〔注意〕 緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で疑義照会して下さい。

書かれていないシートがいくつかありましたので、太字にするか、薬局で確認してもらうようにしてはどうでしょうか。

今回職種欄に書かれていたのは

看護師、ヘルパー、介護福祉士、ケアマネージャー介護士、医師、介護職、訪問看護師、家族、薬剤師、患者本人、その他、記載なしです。

これらのうち、介護福祉士＝介護士なのか、看護師と訪問看護師、また、介護職と記載している場合、それが何なのか解りませんでした。

今回のアンケートでも多かったのは、看護師、ヘルパー、介護福祉士なので、これらと「その他:()」で□選択はどうでしょうか。

多職種連携シート

様 服薬情報提供書 多職種→保険薬局→(照会窓口)→主治医 保険薬局報告日: 年 月 日	
保険医療機関の名称 保険医師名 先生 御机下 FAX:	保険薬局名 所在地 TEL: 担当薬剤師名 FAX:
※当院は、処方のご確認を賜り、厚く御礼申し上げます。 当該患者様の服薬内容をご確認していただき、多職種連携により、下記のとおり問題点を把握し、 薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考にできれば幸いです。 また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。	
発信元: 医師 (医師・薬剤師以外) 年 月 日 当該患者様の処方内容について ☐ 処方内容に誤り ☐ 処方内容 ☐ 処方内容	
発信元: 保険薬局 ② ↑ ↓ ③ この情報を伝えることに対して患者の同意を ☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。 問題点(懸念事項、左)と、薬剤師としての提案事項(右) (複数回答可) 左記選択肢の詳細 (その他、薬物保管状況等特記すべき事項を含む) ☐ 重複投与 ☐ 処方(他剤)変更 ☐ 服用困難 ☐ 処方(他剤)提案 ☐ 残薬 ☐ ご相談 ☐ 禁忌・慎重投与 ☐ ご報告 ☐ 薬物有害事象 ☐ その他 ☐ 用法変更 ☐ 用量変更 ☐ 剤形 ☐ その他	
発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外) ① ↑ ↓ ④ 報告日: 年 月 日 患者名: 様 施設名: TEL: FAX: 職種: ☐ 看護師 ☐ 介護福祉士 ☐ ヘルパー ☐ その他() 報告内容(気になること) ⇒ ☐ 患者からの情報 ☐ 家族からの情報 ☐ その他【報告者等が発見】	

【注意】 緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で疑義照会して下さい。

様 服薬情報提供書

多職種→保険薬局→(照会窓口)→主治医
 保険薬局報告日: 年 月 日

保険医療機関の名称
 保険医師名

先生 御机下

FAX:

保険薬局名
 所在地

TEL:
 担当薬剤師名

FAX:

⑧

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当該患者様の詳細を全て把握しておりませんが、多職種連携により、下記のとおり問題点を把握し、
 薬剤師として処方提案を検討致しました。次回処方のご参考にできれば幸いです。

また、必要時には下記項目につきご教示のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

発信元: 医師

当該患者さんの処方内容について ☐ 処方変更 ☐ 次回処方までに検討 ☐ 変更不可 ☐ その他

コメント

発信元: 保険薬局

②



③

回答日: 年 月 日

この情報を伝えることに対して患者の同意を

☐ 得た。 ☐ 得ていない。 ☐ 患者は主治医への報告を拒否したが、治療上重要だと思われるので報告します。

問題点(懸念事項、左)と、薬剤師としての提案事項(右) (複数回答可)

左記選択肢の詳細

(その他、薬物保管状況等特記すべき事項を含む)

- ☐ 重複投与 ☐ 処方(他剤)変更
☐ 服用困難 ☐ 処方(他剤)提案
☐ 残薬 ☐ ご相談
☐ 禁忌・慎重投与 ☐ ご報告
☐ 薬物有害事象 ☐ その他
☐ 用法変更
☐ 用量変更
☐ 剤形
☐ その他

発信元: 多職種 (医師・薬剤師以外)

①



④

連絡日: 年 月 日

報告日: 年 月 日 患者名: 様

施設名:

TEL:

FAX:

職種:
☐ 看護師
☐ 介護福祉士
☐ ヘルパー
☐ その他()

報告内容(気になること) ⇒

- ☐ 患者からの情報
☐ 家族からの情報
☐ その他【報告者等が発見】

【注意】 緊急性のある内容の場合は、電話等の速やかに伝達できる方法で疑義照会して下さい。